



DOCOMO TEAM DANDELION RACING Team Release

決勝レポート

2013/9/29 Rd-6 スポーツランド SUGO

天候：晴れ時々曇り 気温：25℃ 出走台数：19 台

観客数：28 日(土)5,800 人 29 日(日)10,200 人

2013 シーズンも残り 2 戦となり、チャンピオン争いの行方が見えない接戦の中 絶対に落とすことのできない 1 戦。予選の不調で、伊沢選手 12 番手、武藤選手 14 番手からのスタートながら、レース戦略とチーム総合力で上位フィニッシュを目指す。

緊迫のスタートでエンジンストール車両が発生、ギリギリのところで接触は避けたが、伊沢選手、武藤選手共にポジションダウンを余儀なくされてしまう。混乱は続き、3 周目にコースアウト車両のためセーフティーカー（以下 SC）が導入されると、チームは伊沢選手のピットインを決断。給油のみを行ってコースに戻した。さらに 8 周目、1 コーナーでクラッシュが発生し、2 度目の SC 導入。このタイミングでチームは武藤選手にピットインを指示、給油のみを行う。11 周目のリスタート時点で伊沢選手 4 番手、武藤選手は 14 番手。トップ 3 台はピットインをしていないため、実質 伊沢選手が 1 番手となるが、伊沢選手はここからが燃費そしてタイヤ摩耗との戦い。ガス消費量をモニターしながらのレースコントロールが続く。さらに、26 周目に起こったクラッシュで、何と 3 度目の SC 導入。この時点ですべての車両がピットインを消化し、31 周目のリスタートで伊沢選手首位、武藤選手 13 番手。

タイヤ無交換でレース後半を迎えた伊沢選手は、タイヤ摩耗と燃費のマネジメントを行いながらレースをコントロールするも、36 周目の 1 コーナー、2 位を走行する小暮選手による追突で押し出され、エンジンを止めることとなった。（小暮選手は、危険行為によりペナルティを課された）武藤選手は我慢の走行を続けるが、ポイントには届かず 10 位でレースを完走した。

40：伊沢選手 リタイヤ

勝つしかないレース、勝てると思ったレース でしたが、結果的にはこれまでにない残念なレースとなりました。レースはスタートから混乱が続き、そんな中でもチームは冷静に戦略を立てて、首位まで引き上げてくれました。ペースも良く、タイヤと燃費をマネジメントしながらクリアにバトルしていたので、追突によるリタイヤに言葉を失ってしまいます。チャンピオンへの大きなチャンスを失いました。とても残念ですが、最終戦鈴鹿に負いなく臨み、優勝してシーズンを終えたいです。

41：武藤選手 10 位

朝のフリー走行で、フルタンク状態のマシンはバランスよく、好感触を得ていたのですが、決勝では大きくバランスが変わってしまい、ペースを上げることが出来ませんでした。混乱も多く、タイヤと燃費のマネジメントも難しいレースでしたが、しっかり戦ってポイントを獲得したかったです。チームと共に状況を解析し、次戦 鈴鹿 最終戦で、自分に納得できるレースをします。